

# 主体的・探究的に学ぶ児童を育てよう

自分から課題解決に取り組めず、主体性があまりない。

地域の特色や教科等との関連を活かした単元構想に基づく指導を工夫したり、児童が思考を広げたり深めたりできる協働的な学びの場を設定したりすれば、主体的・探究的に学ぼうとする児童が育成できると考えました。

各過程が充実せず、探究的に学べていない。

## 研究の概要

### 見通し1

## 地域の特色や教科等との関連を活かした単元構想と それに基づいた指導の工夫

「地域の特色を活かした単元構想」と「教科等との関連を活かした単元構想」を盛り込んだ「視覚的カリキュラム表」を作成し、それに基づいた指導の工夫を行うことで、児童が学ぶ意欲を高め、主体的に課題解決に取り組めるようにします。

#### ①地域の特色を活かした単元構想

(5年) 4月 5月

#### ②教科等との関連を活かした単元構想

日常生活に必要な国語について、読み、書き、話す、聴く、考える、想像する力、つづきを認める力、国語の大切さを認識し、国語を学ぶ意欲の向上を図る態度	5年生の国語学習を始めよう① あらまじ あまじ	2 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう② 見立てる/生き物は円形に立っている/生き物の広場①	3 事実と考察して、活動を振り返る③ 次への一歩④
算数	1 整数と小数⑤ 2 立方体や立方体の体積⑥	3 比⑦ 4 小数のかけ算⑧	5 小数のわり算⑨ 6 多角形
理科	1 天気の変化⑩	2 植物の発芽⑪ 3 植物の成長⑫	4 メダカの人じんじょう⑬ 5 人のたんじょう自由研究⑭
総合的な学習の時間	食について考え、体験し、分かったことをまとめよう⑬ ○普段何気なく食べている食料についてくわしく知る。 (4~5月)他教科との関(5~7月)野菜が生産されるま(6~7月)連の中から、身近な地域のでの努力・苦労・工夫について感づきや体験を共有する。野菜づくりに興味をもち、野(8月)野菜づくりに取り組む。野菜づくりに関する情報を集め、野菜づくりに向けて、育てることに決定し、育てる。野菜づくりに関する情報を集め、野菜づくりに向けて、育てることに決定し、育てる。野菜づくりに関する情報を集め、野菜づくりに向けて、育てることに決定し、育てる。		

地域にはどんな特色があるのかな？



子供たちは、身近な地域の魅力を発見しながら、地域の方々に分からないことも教えてもらえるだろう。

5年生の学習内容と身に付ける資質・能力はどうなっているのかな？



この総合の授業では、教科等で学んだことを活用することで、課題追究が充実したものになるだろう。

## 視覚的カリキュラム表

### 見通し2

## 協働的な学びの場の設定と 自他の考えを広げたり深めたりする活動の充実

問題解決の各過程において、協働的な学びの場を設定し、自他の考えを広げたり深めたりする活動を充実させることで、児童が課題解決に向け主体的・探究的に学べるようになります。



そういえば、社会で勉強したことがニュースでも話題になってたよ。

#### ①課題の設定



#### ④まとめ・表現

お世話になった方々に、追究したことを分かりやすく伝えたい。

## 協働的な学びの場の設定

#### ②情報の収集



身近な専門家に質問できるといいなあ。

#### ③整理・分析

なるほど、その問題の原因はそうつながるのか。



## 主体的・探究的に学ぶ児童



第5学年の「食について考え、体験し、分かったことをまとめよう」と「食の大切さについて発信しよう」の2つの単元で行った実践を紹介します。

「食についての問題」について、**社会や家庭科で学んだこと**を取り入れながら**黒板を使って児童同士でウェビング**を行い学びを広げました。

知りたいこと疑問に思うことの情報収集のために、**教科で学んだこと**を活かして、納得いくまで**地域の人に質問をしながら**学びを広げました。

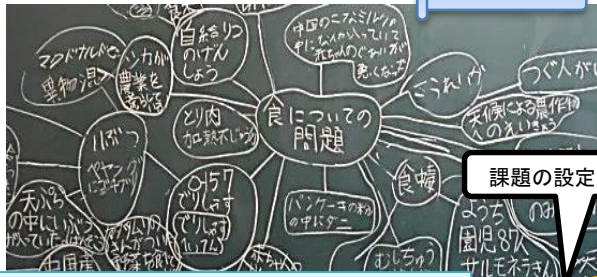
家庭科で調理実習をする際に気を付けたことがありましたね。最近ニュースで報道されている食中毒の問題と関係がありますね。

見通し1



社会で農家や農業が抱える課題についてどんなことを勉強しましたか？

見通し2



課題の設定

情報を共有することで、自分たちで解決すべき課題に気付き、主体的な活動につながりました。

理科で植物の栽培の学習をしたけれど、野菜のつくり方について専門家の話が聞ければなあ・・・

見通し1



インタビューの仕方は、国語で勉強したことを使えるといいですね。

苗を植えつけるときに気を付けた方がいいことはありますか？

見通し2

苗を植えつけるときは、根が傷まないようにすることが大事だよ。



情報の収集

児童の野菜づくりへのさらなる意欲につながりました。

協働的な学びの場の設定

国語のまとめる力や算数の分析する力などを活かしてまとめをし、**地域の方や栄養教諭**といった相手意識・目的意識をもち発表をし、**学びを深めました。**

個人で調べた情報をもとに、食に関する「**問題点**」と「**原因**」とのつながりを**国語の提案文**での学習を活かして、**グループで視点を明確にして話し合い**学びを深めました。

お世話になった地域の人たちに向けて、わかりやすく伝えるようにするにはどうしたらいいかな？

見通し1



まとめ・表現

フードロスの多さが伝わるように、学校のプール何杯分かで表わせられないかな？**算数**の体積の学習が活かせるのかな？

見通し2



教科等で学んだことを活かしながらまとめ、地域の方や栄養教諭が発表を聞いてくれることで、「地域の人が聞きに来てくれて、さらにやる気になった」など主体的・探究的に学ぶ姿が見られました。

整理・分析

見通し1



国語で提案文を書いた時には、身近にある問題の解決策をどのように考えましたか？

この整理・分析の仕方は、国語の勉強で前やった方法と同じだから分かりやすいな。

見通し2

この問題点の原因は、これでいいのかな？みんなの意見を聞くと、もっと調べてみる必要がありそうだね。

整理・分析の方法が想起でき、児童の主体的な課題解決につながりました。

成果

- 地域の特色を活かした単元構想をしたことで、児童の思いに応え地域の支援をいただき、児童の主体的な活動につながった。
- 教師側が視覚的カリキュラム表を作成・閲覧をし、他教科の学習を活かせる児童への投げかけをすることで、児童の主体的な活動につながった。
- 児童同士や地域の方と協働する場面を意識的に取り入れたことで、児童が課題を共有したり、考えを広げたり深めたりすることにつながり、そこから更に調べたい、知りたい、相談したいといった主体的で探究的に学ぶ姿が見られた。

